

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

\*野菊とは山野で見られる菊の総称。ここでは武蔵野自生のキク科シオン属、キク属を扱います。

ユウガギク  
(柚香菊) キク科シオン属



7～10月、日当たりよく適度に湿気のあるところに咲く。花径2.5cm 白～淡青紫色。



枝をよく横に広げ、花は散房状。



冠毛は短く、花の後も目立たない。(カントウヨメナも同様)

- ・総苞はカクテルグラス型
- ・葉は薄く、羽状に深く切れ込み、両面に毛がある。

カントウヨメナ  
(関東嫁菜) キク科シオン属



8～10月、日当たりよく適度に湿気のあるところに咲く。花径2.5～3cm。白～淡青紫色。



花は枝先に1～3。



- ・総苞はカクテルグラス型
- ・葉は無毛でつるつる。荒い鋸歯。

ノコンギク  
(野紺菊) キク科シオン属



8～11月、様々な環境に咲く。花径約2.5cm。白～淡青紫色。



花は枝先に散房状。



- ・総苞はワイングラス型
- ・葉はザラザラする。
- ・花の後、冠毛が目立つ。

シラヤマギク  
(白山菊) キク科シオン属



8～10月、林縁～林内に咲く。花径約1.5～2cm。花弁は白でまばら



花は枝先に散房状。

高さ1.5mにもなる。

- ・下部の葉は心型。
- ・花の後、冠毛が目立つ。



○用語：総苞＝花の下で、基部を包んでいる小さな葉の集まり。 冠毛＝キク科植物の種の上に出る毛。 ○葉の特徴は下部のものが分かりやすい

# 武蔵野の公園で見られる野菊と、ちょっとすてきなキク科の花

## シロヨメナ

(白嫁菜) キク科シオン属



8～11月、落葉樹林の中など、半日蔭に咲く。花径1.5～2cm。花は白色。



花は枝先に散房状。



ウインググラス

花の断面を見ると  
無数の細い毛がある  
(冠毛)

- ・総苞はウインググラス型
- ・葉は長く大きく、先端が鋭く尖る。3本の脈が目立つことが多い。
- ・花の後、冠毛が少し出る。

## リュウノウギク

(竜腦菊) キク科キク属



10～12月、日当たりよく乾燥したところに咲く。花径3～4.5cm。花は白色。



花は枝先に散房状。

- ・葉は鋸歯が大きく、3中裂。裏面は毛が密生し、灰白色。
- ・葉や茎に竜腦のような香りがある。

## 野菊とはいわないけれど...

### コウヤボウキ

(高野箒) キク科コウヤボウキ属



9～10月、丘陵地の尾根沿いなどやや乾燥したところに咲く。花径は2cmほど。花は白色、ときにやや赤みをおびる。



冬枯れの中、キラキラ光るコウヤボウキの冠毛はとてもきれい!

### センボンヤリ

(千本槍) キク科センボンヤリ属



春、林縁などに小さな白い花を咲かす。



閉鎖花

秋、何本もの花茎を50cmほどに伸ばすが、これは花をつけず(閉鎖花)、タンポポに似た褐色の冠毛を持つ実を結ぶ。

